



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 株式会社タクマ 上場取引所 東  
 コード番号 6013 URL <http://www.takuma.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 隆昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 泉 雅彦 (TEL) 06-6483-2610  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	66,087	9.8	4,632	88.1	5,651	67.5	5,027	72.9
25年3月期第3四半期	60,173	△7.2	2,462	241.3	3,374	130.9	2,907	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 6,245百万円(129.0%) 25年3月期第3四半期 2,726百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	60.81	—
25年3月期第3四半期	35.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	103,937	40,464	38.7
25年3月期	106,753	34,652	32.2

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 40,193百万円 25年3月期 34,387百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
26年3月期	—	3.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	△1.4	8,000	28.2	9,000	25.6	8,000	30.2	96.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料の4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期3Q	87,799,248株	25年3月期	87,799,248株
26年3月期3Q	5,122,301株	25年3月期	5,120,836株
26年3月期3Q	82,678,190株	25年3月期3Q	82,682,730株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要や緊急経済対策から公共投資の増加が続いており、円高の是正を背景に輸出が持ち直しつつあるほか、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の3本の矢を推進するアベノミクスへの期待などから、個人消費も増加しており、景気は緩やかに回復しております。

このような経済情勢の下で、再生可能エネルギーによる電力の固定価格買取制度により、ごみ発電をはじめとした廃棄物処理プラント、木質バイオマスなどを燃料とするバイオマス発電プラントといった当社グループの主要製品には旺盛な需要が見られます。

当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、ごみ処理施設の建設工事、基幹改良工事、運転・維持管理などを順調に受注したほか、バイオマス発電設備を相次いで受注しており、受注高は101,586百万円と前年同期に比べ27,195百万円(36.6%)の増加となりました。

売上高については66,087百万円となり、ごみ処理施設の基幹改良工事が大きく進捗したことなどから前年同期に比べ5,913百万円(9.8%)の増加となりました。また、受注残高は126,512百万円となりました。

損益面においては、営業利益は4,632百万円、経常利益は5,651百万円、四半期純利益は5,027百万円となり、売上高が増加したことに加え、販売費及び一般管理費が減少したことなどから、前年同期に比べそれぞれ2,170百万円(88.1%)、2,277百万円(67.5%)、2,120百万円(72.9%)の大幅な増加となりました。

なお、当社グループの売上高は、通常の事業形態として、上半期に比較して下半期が多くなる傾向にあります。また、下半期においても、第3四半期の売上高に比較して第4四半期の売上高が多くなる傾向にあります。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	売上高	営業損益	受注残高
環境・エネルギー(国内)事業	80,610	46,472	4,798	115,558
環境・エネルギー(海外)事業	703	1,676	102	839
民生熱エネルギー事業	13,714	13,508	877	4,738
設備・システム事業	7,424	5,175	△15	5,505
計	102,453	66,832	5,763	126,643
調整額	△867	△744	△1,131	△131
合計	101,586	66,087	4,632	126,512

## ① 環境・エネルギー(国内)事業

ごみ処理施設の建設工事、基幹改良工事、運転・維持管理などを順調に受注したほか、バイオマス発電設備を相次いで受注しており、受注高は80,610百万円と前年同期に比べ25,743百万円(46.9%)の増加となりました。

売上高は46,472百万円となり、ごみ処理施設の基幹改良工事が大きく進捗したことなどから前年同期に比べ4,992百万円(12.0%)の増加となりました。

損益面では、営業利益4,798百万円と前年同期に比べ1,544百万円(47.5%)の増加となりました。

## ② 環境・エネルギー(海外)事業

東南アジアにおいて製糖業のプラント設置にかかる許認可手続きが依然として停滞しており、受注高は703百万円と前年同期に比べ969百万円(57.9%)の減少となりました。

売上高は1,676百万円と前年同期に比べ759百万円(31.2%)の減少となりました。

損益面では、営業利益102百万円と前年同期に比べ51百万円(33.7%)の減少となりました。

## ③ 民生熱エネルギー事業

積極的な営業活動の展開により、貫流ボイラの受注が増加したほか、高効率な潜熱回収型の真空式温水機などの受注もあり、受注高は13,714百万円と前年同期に比べ333百万円(2.5%)の増加となりました。

売上高は13,508百万円と前年同期に比べ1,531百万円(12.8%)の増加となりました。

損益面では、営業利益877百万円と前年同期に比べ632百万円(257.8%)の増加となりました。

## ④ 設備・システム事業

建築設備の受注が増加したほか、半導体産業用設備の受注も増加しており、受注高は7,424百万円と前年同期に比べ2,574百万円(53.1%)の増加となりました。

売上高は5,175百万円と前年同期に比べ590百万円(12.9%)の増加となりました。

損益面では、営業損失15百万円となったものの、前年同期に比べ39百万円の改善となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

廃棄物処理プラントではごみ処理施設の更新や延命化により、またバイオマス発電プラントではエネルギー政策が追い風となり、これらの需要が引き続き見込まれております。一方で、アベノミクスへの期待などから景気も緩やかに回復しているなか、公共投資の増加や為替相場での円安などにより、労務費をはじめとする工事価格のほか、資機材価格の上昇も見られております。

このような状況の下、当社グループの業績については、一部においてコストが上昇するなどの影響があるものの、当第3四半期連結累計期間において堅調に推移していることから、平成25年11月12日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

しかし、先行きにおいては、資機材価格、工事価格のさらなる上昇によっては、これらの業績への影響が懸念されるところです。

なお、当社グループの事業では、納期が連結会計年度末直前となる工事が多く、第4四半期にかけて進捗、引渡しが多くなる傾向にあり、業績においても第4四半期での売上高が他の四半期と比較して著しく大きくなるなど季節的変動が大きいことから、業績管理については年次のみで行うこととしております。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

### ① 原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べております。

### ② 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,689	29,891
受取手形及び売掛金	43,478	32,502
有価証券	5	—
たな卸資産	3,723	5,890
その他	4,100	5,263
貸倒引当金	△62	△77
流動資産合計	77,935	73,470
固定資産		
有形固定資産	11,667	11,916
無形固定資産	232	270
投資その他の資産		
投資有価証券	11,680	14,093
その他	5,822	4,771
貸倒引当金	△585	△583
投資その他の資産合計	16,917	18,280
固定資産合計	28,818	30,467
資産合計	106,753	103,937

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,631	23,945
短期借入金	13,670	12,393
未払法人税等	698	204
賞与引当金	1,729	956
工事損失引当金	679	1,225
その他の引当金	1,058	1,041
その他	8,490	11,604
流動負債合計	56,959	51,372
固定負債		
長期借入金	6,571	3,875
退職給付引当金	6,930	7,213
役員退職慰労引当金	209	209
負ののれん	883	305
その他	546	497
固定負債合計	15,141	12,100
負債合計	72,100	63,472
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,367	13,367
資本剰余金	3,840	3,840
利益剰余金	19,376	23,991
自己株式	△3,604	△3,605
株主資本合計	32,980	37,593
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,479	2,597
繰延ヘッジ損益	△5	20
為替換算調整勘定	△67	△18
その他の包括利益累計額合計	1,406	2,599
少数株主持分	265	271
純資産合計	34,652	40,464
負債純資産合計	106,753	103,937



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	60,173	66,087
売上原価	47,513	51,510
売上総利益	12,660	14,576
販売費及び一般管理費	10,198	9,944
営業利益	2,462	4,632
営業外収益		
受取利息	64	58
受取配当金	292	211
持分法による投資利益	265	357
負ののれん償却額	610	578
その他	146	151
営業外収益合計	1,379	1,358
営業外費用		
支払利息	342	226
その他	125	111
営業外費用合計	467	338
経常利益	3,374	5,651
特別損失		
投資有価証券評価損	14	—
その他	2	—
特別損失合計	16	—
税金等調整前四半期純利益	3,357	5,651
法人税等	449	637
少数株主損益調整前四半期純利益	2,908	5,013
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1	△14
四半期純利益	2,907	5,027

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,908	5,013
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△174	1,118
繰延ヘッジ損益	△27	41
為替換算調整勘定	20	72
その他の包括利益合計	△181	1,231
四半期包括利益	2,726	6,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,734	6,221
少数株主に係る四半期包括利益	△7	23

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境・ エネルギー (国内)事業	環境・ エネルギー (海外)事業	民生熱 エネルギー 事業	設備・ システム 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	41,257	2,435	11,929	4,551	60,173	—	60,173
セグメント間の内部売上高 又は振替高	222	0	47	33	303	△303	—
計	41,480	2,435	11,977	4,584	60,477	△303	60,173
セグメント利益又は損失(△)	3,253	154	245	△55	3,598	△1,136	2,462

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,136百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,266百万円及びその他の調整額130百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境・ エネルギー (国内)事業	環境・ エネルギー (海外)事業	民生熱 エネルギー 事業	設備・ システム 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	46,240	1,676	13,408	4,762	66,087	—	66,087
セグメント間の内部売上高 又は振替高	232	—	99	412	744	△744	—
計	46,472	1,676	13,508	5,175	66,832	△744	66,087
セグメント利益又は損失(△)	4,798	102	877	△15	5,763	△1,131	4,632

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,131百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,251百万円及びその他の調整額119百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。